

市民公開講座「排尿排便障害の自己管理と在宅介護の実際」 完了報告書

「排尿排便の自己管理と介護を考える沖縄の会」 代表 菅谷公男

琉球大学医学部およびその関連施設に所属する私達は、これまで毎年のように離島を含む沖縄県内各地で泌尿器疾患に関する公開講座を開催してきました。公開講座を開催するとその後の沖縄県内の各泌尿器科の外来患者数が増加しました。特に排尿障害に関する訴えの患者が増加して、啓発活動の大切さを実感していました。また、毎年のように開催していても、公開講座参加者の中からは「尿失禁は自分だけと思って、恥ずかしさから医療機関を受診していなかった」との話を聞くことから、啓発活動は繰り返し行う必要のあることを実感していました。また、勇気を持ってある病院に尿失禁のため受診したら、医師から「それは年のせいだから」と言われ、適切な治療やアドバイスもないまま治る病気ではないと思い込み、その後も辛い思いを続けてきたと話す患者もいます。そこで、排尿障害と排便障害に悩む本人や家族介護者、訪問看護師や介護福祉士などを含む一般市民を対象に、他人にはなかなか相談し難い“シモ”の管理と介護に関する市民公開講座を開催し、排尿や排便に関して悩みを持つ多くの方々の生活の質の向上に寄与したいと考えました。今回は特に在宅介護にも力を入れ、介護する側である介護福祉士にも膀胱留置カテーテル、膀胱瘻カテーテルや自己導尿などの方法を十分理解してもらえるよう配慮しました。

公開講座は平成 21 年 7 月 11 日 土曜日の午後に那覇市国際通り沿いにある「てんぶす那覇」の「テンプスホール」にて開催されました。初めに「排尿障害の原因と対処法：泌尿器科医の立場から」として、北上中央病院の菅谷公男が下部尿路の解剖・機能を解説し、尿排出障害と蓄尿障害に分けてそれらの原因と治療法を講演し、次いで「排便障害の原因と対処法：内科医の立場から」として、琉球大学医学部第一内科の平田哲生氏が排便の仕組み、便秘や下痢の原因や治療法を講演しました。その後には、「排尿排便障害の管理：尿失禁対策アドバイザーの立場から」として琉球大学医学部保健学科の大湾知子氏が骨盤底筋体操の指導を含めて講演しました。また、「自己導尿と膀胱留置カテーテルの管理：看護師の立場から」として琉球大学附属病院看護部の長嶺由樹子氏が現場での問題点や対処法を講演しました。それぞれの講演時間は 15—20 分で、その後に 15 分間の休憩をはさみました。第Ⅱ部は「排尿排便の在宅介護：介護福祉士とケアマネージャの立場から」として在宅総合ケアセンター陽心会のサービス提供責任者の具志堅実氏と介護支援専門員の安次富美恵子氏が実際の介護の問題点と対処法を講演し、最後に「リハビリ医からの助言：リハビリ医の立場から」として

沖縄リハビリテーションセンター病院リハビリ科の又吉達氏がリハビリ方法とその効果など講演しました。最後に 15 分ほど質疑の時間をとりました。

今回の市民公開講座では介護の面にも焦点を当てたため、参加者のなかに介護関連の方々がおられ、質疑では実際の介護についての質問が幾つかあり、今回の目的のひとつを達成できたように感じました。また、参加者がこの公開講座をどのようにして知ったかを尋ねると、多くの参加者は新聞のお知らせ欄を見て知ったとする方が大多数でした。今回はポスターを多く作成し、病院や医療関連施設に配布したのですが、ポスターを見て知った方はごく僅かでしたので、ポスター作製に力を入れるより、新聞紙上でのアピールの方が経済的で確実と感じました。参加者はアンケート回収の総数で 116 名でした。今回の反省をもとに、今後も市民公開講座を効率よく開催して行きたいと思いました。

最後に、本公開講座は財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成によって開催されましたことを記し、深謝いたします。

市民公開講座 排尿排便障害の自己管理と在宅介護の実際

排尿困難、残尿感、頻尿、尿失禁、導尿、膀胱カテーテル管理、便失禁や便秘といったおしっこやトイレに悩むご本人やご家族介護者、訪問看護師や介護福祉士などを含む一般市民の方々を対象に、他人にはなかなか相談し難い“シモ”の管理と介護に関する市民公開講座を開催いたします。排尿や排便に関して悩みを持つ多くの方々の生活の質の向上を目指します。恥ずかしがらずにご参加ください。

対象 おしっこやトイレに悩むご本人やご家族介護者、訪問看護師や介護福祉士などを含む一般市民

日時 平成21年7月11日（土曜日）14時—16時30分

場所 てんぶす那覇：テンプスホール（国際通り沿い、牧志バス停）
沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号 TEL:098-868-7810

参加費 無料

プログラム

司会 北上中央病院 菅谷 公男

14時00分—15時00分

排尿障害の原因と対処法：泌尿器科医の立場から
北上中央病院 菅谷 公男

排便障害の原因と対処法：内科医の立場から
琉球大学医学部第一内科 平田 哲生

排尿排便障害の管理：尿失禁対策アドバイザーの立場から
琉球大学医学部保健学科 大湾 知子

自己導尿と膀胱留置カテーテルの管理：看護師の立場から
琉球大学附属病院看護部 長嶺 由樹子

（休憩15分）

15時15分—16時30分

排尿排便の在宅介護：介護福祉士とケアマネージャの立場から
在宅総合ケアセンター陽心会 サービス提供責任者 具志堅 実
介護支援専門員 安次富 美恵子

リハビリ医からの助言：リハビリ医の立場から
沖縄リハビリテーションセンター病院 又吉 達

討論・質疑

共催 排尿排便の自己管理と介護を考える沖縄の会
財団法人 勇美記念財団

連絡先 琉球大学医学部保健学科内 排泄機能センター 大湾 知子
TEL:098-895-1260